

## < 参考資料 >

# 平成 30 年度 予算編成の基本的な考え方

## 1 重点目標

- (1) 未来を担う子どもたちのために
- (2) 地域や市民のために
- (3) 本市のさらなる発展のために

## 3 優先施策

### 子育て支援・教育の充実

妊娠から出産、子育てまで継続した子育て支援の充実を図るとともに、家庭や地域と連携して子どもを「地域の宝」として守り育てるための教育施策を推進する。

(中学校入学時の制服等購入支援、ひと・ほんの庭にこっこの開館、(仮称)中泉こども園の建設、小規模保育所の施設整備助成など)

### 市民の安全・安心の確保

地震や豪雨等の自然災害に対する防災・減災対策の推進や消防・救急体制の充実、防犯、交通安全対策を推進する。

(救急車の更新と救急体制の充実、合葬墓の整備、海岸堤防の整備推進など)

### 活力ある地域づくりの推進

交流センターを拠点した地域づくりを推進するとともに、スポーツ・歴史・文化に親しむことができる環境づくりを進める。

(交流センター体育館及び小中学校体育館照明のLED化、デマンド型乗合タクシーの運行内容見直し、(仮称)磐田市文化会館や遠江国分寺跡の整備など)

### 支え合いの推進と福祉の充実

住み慣れた地域で健康に安心して暮らせるように、福祉サービスや地域医療体制の充実を図り、地域で支え合う体制づくりを進める。

(認知症初期集中支援チームの設置、生活困窮者・障がい者の就労支援の強化、市民後見人の育成、在宅介護手当の拡充など)

### 産業の育成と都市基盤の整備

既存産業の活性化や創業・新産業の創出などによる雇用の確保とともに、生活基盤や交通ネットワークの整備を進める。

(Uターン就職者への奨学金返済補助の開始、中小企業等の海外での人材確保支援、JR新駅及び新東名磐田スマートICの整備推進など)